

日本航空株式会社 2024年3月期 第2四半期 決算 ご説明・解説



JAPAN AIRLINES



2023年11月

JALはラグビー日本代表を応援しています
@JRFU, 2023

取締役専務執行役員グループCFO

斎藤祐二

1. 2024年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2024年3月期 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み

JALグループ 2023年度 上期業績

(単位：億円)	2019年度 上期 (コロナ禍前)	2022年度 上期	2023年度 上期
売上収益	7,489	6,185	8,209
費用	6,715	6,374	7,366
EBIT	829	2	912
EBIT=財務・法人所得税前損益（税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの）			
純損益	541	▲ 21	615
純損益=親会社の所有者に帰属する当期損益			

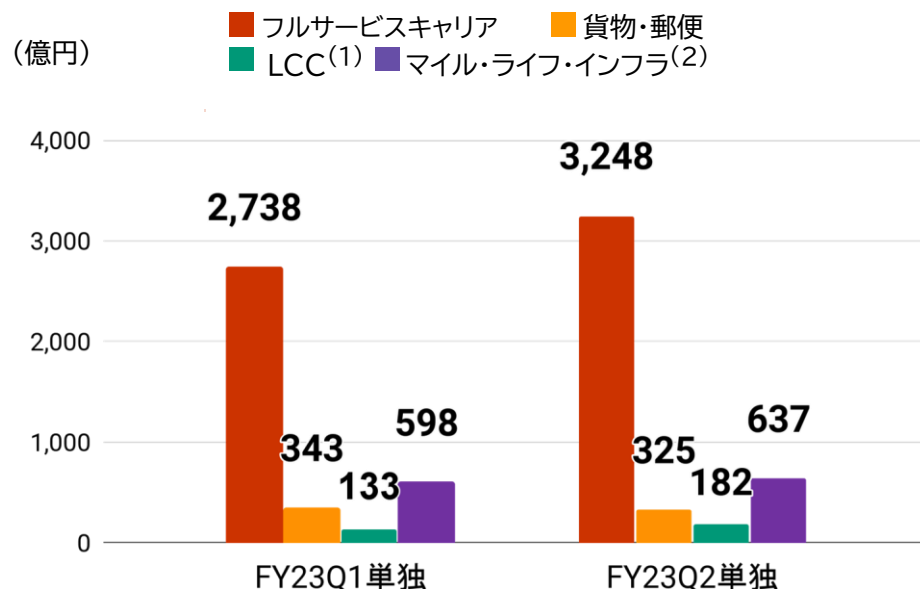
2024年3月期 第2四半期 事業領域別実績



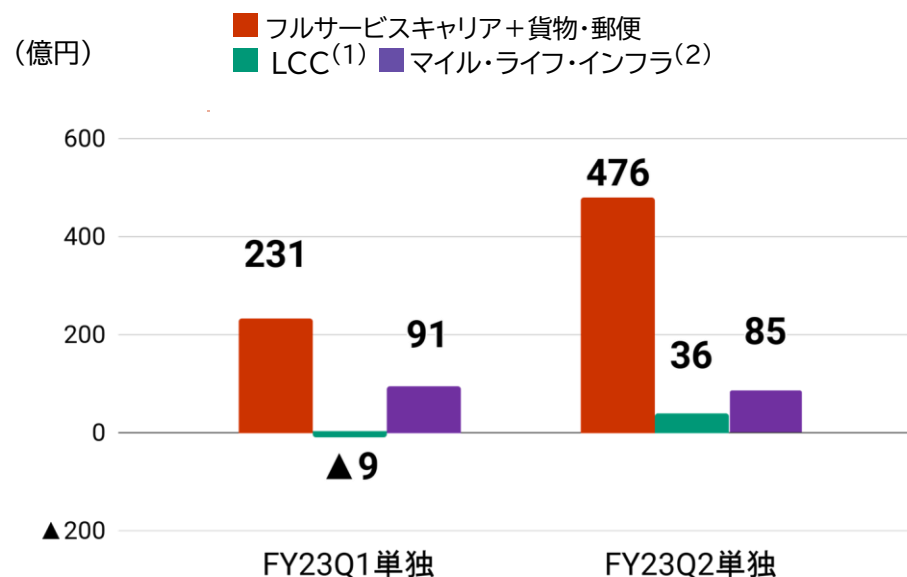
- ✓ フルサービスキャリアがけん引し、売上収益・EBITは大きく増加
- ✓ LCCのEBITは黒字化、マイル・ライフ・インフラは安定的に利益を計上

FY23上期 (単位:億円)	フルサービス キャリア	貨物・郵便	LCC (1)	マイル・ライフ インフラ (2)
売上収益	5,987	669	316	1,236
EBIT	707		27	177

事業領域別 売上収益



事業領域別 EBIT



- ・ 事業領域別の売上収益・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- ・ 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません
- ・ 今後社内管理ルールの変更等により、事後的に変更される可能性がある、あくまでも便宜的な数値であることをご了承願います
- (1) 売上収益は、連結子会社のZIPAIRおよびSPRING JAPAN、EBITは、連結子会社2社に加えて、持分法適用会社であるJetstar Japan
- (2) マイル・ライフ・インフラ＝旅行・マイル提携・受託事業収入など

1. 2024年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2024年3月期 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み

JALグループ 2023年度 業績予想・配当予想



(単位：億円)	2022年度 実績	2023年度 期初予想	2023年度 今回予想	予想 増減額
売上収益	13,755	16,580	16,840	+260
費用	13,446	15,710	15,670	▲40
EBIT	645	1,000	1,300	+300
純損益	344	550	800	+250
1株当たり 配当金額	25.0円 (中間－、期末25円)	40.0円 (中間20円、期末20円)	60.0円 (中間30円、期末30円)	+20.0円 (中間・期末各10円)

2024年3月期 通期連結業績予想 詳細



(単位:億円)	FY22	FY23		
	実績	期初予想	今回予想	予想増減
売上収益	13,755	16,580	16,840	+260
フルサービスキャリア	11,086	12,810	13,390	+580
国際旅客収入	4,175	5,570	6,430	+860
国内旅客収入	4,511	5,380	5,460	+80
貨物郵便収入	2,247	1,720	1,330	▲390
その他収入	152	140	170	+30
LCC	306	810	710	▲100
マイル・ライフ・インフラ (1)	2,362	2,960	2,740	▲220
営業費用	13,446	15,710	15,670	▲40
燃油費	3,233	3,870	3,770	▲100
燃油費以外	10,213	11,840	11,900	+60
その他収支 (2)	336	130	130	-
EBIT	645	1,000	1,300	+300
純利益	344	550	800	+250

事業領域別EBIT			
(単位:億円)	FY22 実績	FY23	
		期初予想	今回予想
フルサービスキャリア 貨物・郵便	249	450	800
LCC	▲80	0	30
マイル・ライフ・インフラ (1)	477	550	470

- 事業領域別売上収益・EBITは、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません

燃油・為替の市況変動による利益影響 (ハッジ、燃油サーチャージ等込み)					
(億円)	燃油市況 (USD/b bl)	ドバイ 原油	82ドル	92ドル	102ドル
		シンガポール・ ケロシン	110ドル	120ドル	130ドル
為替 (円 /USD)	135円		+80	+60	+0
	145円		+40	+0	▲70
	155円		▲30	▲120	▲100

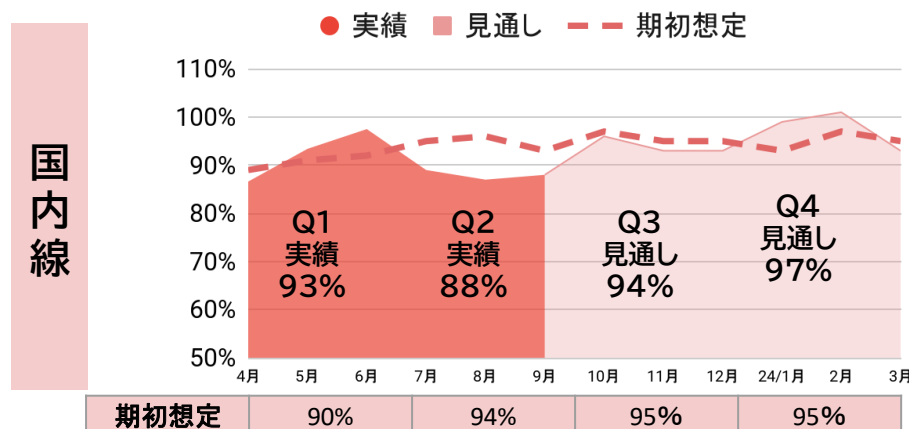
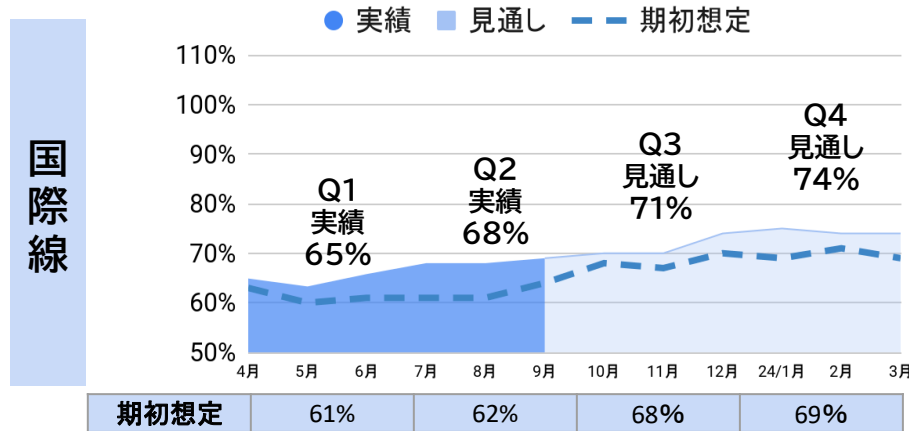
(1) マイル・ライフ・インフラ＝旅行・マイル提携・受託事業収入など (2) その他収支＝航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

2024年3月期 通期連結業績予想の前提

国際・国内旅客(フルサービスキャリア)

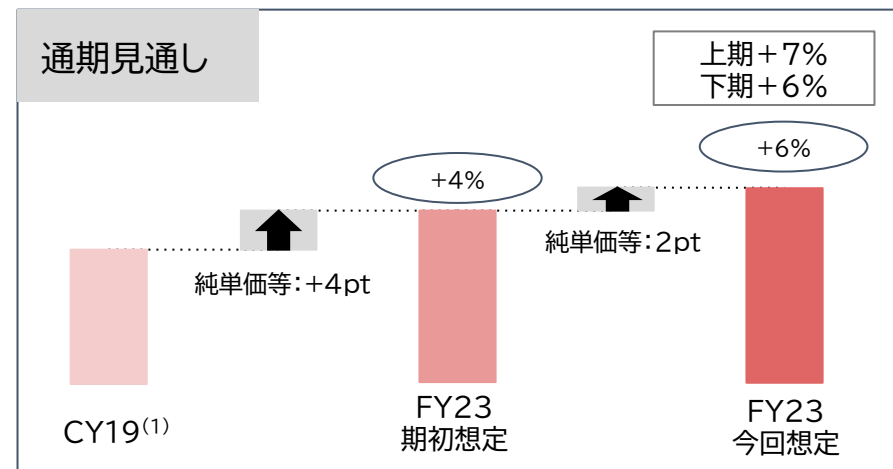
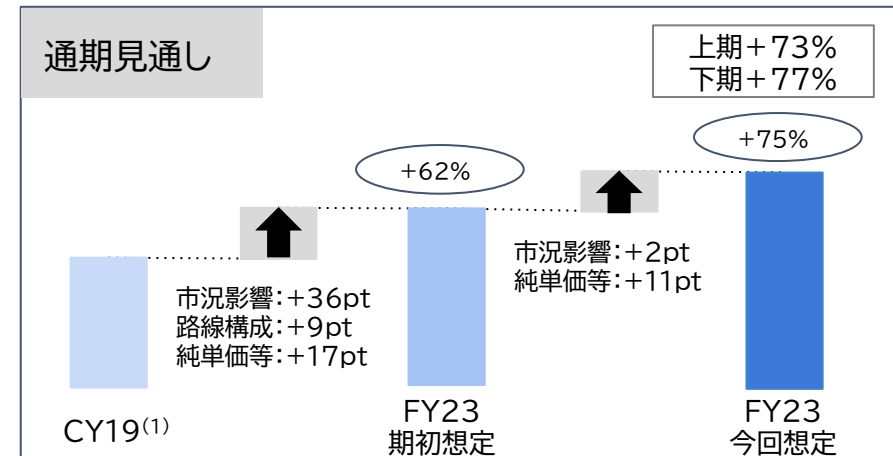
- ✓ 国際旅客は、回復する需要を確実に取り込み、旅客数・単価ともに期初想定を大きく上回る見通し
- ✓ 国内旅客は、高い競争力と柔軟な価格施策により需要獲得を推進し、期初想定を上回る収入を見込む

旅客需要(CY2019比)⁽¹⁾



(1) CY2019=2019年1月～12月

単価(CY2019比)⁽¹⁾



1. 2024年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2024年3月期 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み

直近の当社の取り組み (国際旅客)



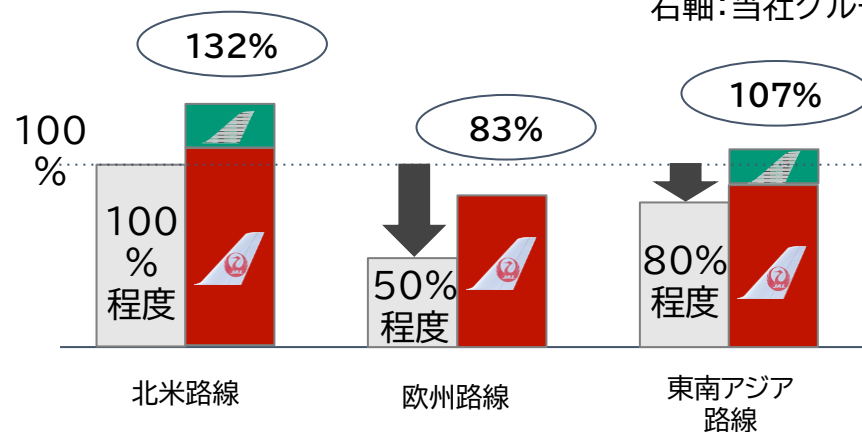
国際旅客



マーケットで優位なポジションを確保

FY23上期/日本発着便の総座席数
(CY19対比)

左軸:市場全体
(FSC+LCC)
右軸:当社グループ



国際線の総座席数は未だコロナ前水準に戻らず

当社グループのマーケットシェアが上昇

- 当社は、早めに供給を回復
- 今冬より新型機を導入し、競争力をより強化

競争力強化の取り組み

国際線新フラッグシップA350-1000 年内にも運航開始！

- 今年度は3機受領予定、初号機は羽田＝ニューヨーク線
- 従来機よりビジネスクラスの座席数を10%増加、プライベート感あふれるくつろぎの空間へ一新
- 従来機と比べ、燃油消費量・CO2排出量を約15～25%削減



<ファーストクラス>



<ビジネスクラス>



<プレミアム
エコノミークラス>



<エコノミークラス>



直近の当社の取り組み (貨物・郵便、LCC、マイル・ライフ・インフラ)



貨物・郵便

■ フレイタービジネス開始に向けた準備は順調

767貨物機



- ・物流パートナーと提携
- ・2024年2月より運航開始予定

A321貨物機



- ・ヤマトHDと提携
- ・2024年度より運航開始予定

■ 市場環境が厳しい中、トランジット貨物や医薬品の取り込み強化などにより、コロナ前を上回る物量を確保

総需要・JAL物量(FY19比)



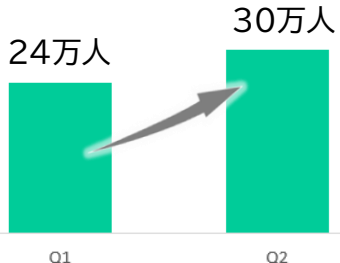
*総需要=日本発着JAF需要実績

LCC

- ZIPAIRの旅客数は単月10万人、累計100万人に到達！
- 現在就航都市を8都市まで拡大、今後もさらなる成長を目指す

ZIPAIR FY23

旅客数推移



就航都市



マイル・ライフ・インフラ

マイレージ

- マイルの利便性を向上すべく、
- ・日常生活でマイルがたまるシーンを拡大
- ・特典航空券以外のJALならではの体験・特典を充実

普段の暮らし(たまる)

JALの保険

介護 医療 がん 傷害 etc.



特別な時間(つかえる)



発行マイル数(非航空分野)

マイレージ 利益推移

